



高知県佐川町
産地提案書

いちご農家 募集

お問い合わせ

佐川町担い手育成
総合支援協議会

佐川町産業建設課 農商工係

高知県高岡郡佐川町甲 1650-2
TEL | 0889-22-7708
Mail | sk07010@town.sakawa.lg.jp

ぜひはお電話ください！

令和2年1月策定

佐川町 is such a place !

高知県の中西部、今や全国的な知名度を誇る「仁淀川」の流域に位置する、山に囲まれたちいさな町。江戸時代から続く土佐の銘酒「司牡丹酒造」の風情ある酒蔵が並ぶ歴史と文教のまちです。

イチゴ、トマト、ニラなどの施設園芸（ハウス栽培）が盛んで、他にも米や生姜、果樹など多品目の農作物が栽培されています。移住促進にも積極的で、UI ターンの若い世代の就農者たちが佐川の農業を盛り上げてくれます。

平成 27 年～令和元年までの新規就農者数：10 人
農業従事者：873 人（2015 年農林業センサス）



佐川町のイチゴ 🍓

佐川町は、高知県トップクラスのイチゴの産地です。上品な甘さと実の大きさが魅力。品評会においても高い評価をいただいております、県外のファンも多いです。



先輩就農者ストーリー



クリエイティブ農家
小松 謙太郎 さん

高知県四万十町出身。平成 28 年に就農。妻と 2 人で 15a 栽培。

県外で 10 年間会社員をしていましたが、妻の両親が佐川町でイチゴを栽培しており、初めて食べた佐川町のイチゴの美味しさに感動したのが就農の最初のきっかけでした。

最初はわからないことばかりでしたが、妻の両親や所属している部会の先輩たちに教えてもらいながら栽培技術を覚えました。

就農してからは、会社員時代と比べて自由に使える時間は増えましたが、自由がある分、自分を律して作業しないと良いイチゴはできません。手を加えた分良いものが収穫できるし、収入も増えます。農業はそれが魅力的でやりがいを感じています。これからもこだわりを持ってみんなに喜んでもらえる美味しいイチゴを作っていきます。



小松さんの奥様、志穂さんと。夫婦二人三脚でおいしいイチゴをつくっています。（上） / 小松さんのイチゴは「ゆめのか」。甘さと酸味のバランスが絶妙な品種です。（中・下）



求める人材！

- 1 | 本気で就農を目指し農業に積極的に取り組む意欲ある方（独立・自営就農または親元就農）
- 2 | 年齢は原則 45 歳以下（できるだけ夫婦）で、就農後、佐川町内に居住して営農できる方
- 3 | 地域活動に積極的に参加できる方
- 4 | 研修期間中必要な生活資金や当面の運転資金、ハウス等の設備投資資金を準備できる方（200～300 万円程度必要）

就農までの流れ



いちご農家の 1 年 | モデルデータ

※ 就農 5 年後のモデルであり、所得を保証するものではありません。

🍓 経営モデル

経営面積 20a（10a あたり収量 4,500 kg（a=100 m²））

年間総労働時間 5,000 h（家族労働力 2 人 + パート 0.5 人で、1 人 1 日 8 h × 250 日）で計算した場合

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
		収穫				準備		定植	管理		収穫
				育苗							

売上高 950 万円 - 経費合計 500 万円 = 所得 450 万円

支援体制

JA 高知県佐川支所苺部会や関係機関（高知県農業協同組合、高知県、佐川町）が連携して、支援・サポートを行います。

- ☺ 栽培技術の習得
- ☺ 必要な設備導入資金調達
- ☺ 栽培農地の取得
- ☺ 就農に関する補助金制度の活用
- ☺ 生産者・販売者・地域住民との交流会や研修会
- ☺ 移住・定住

